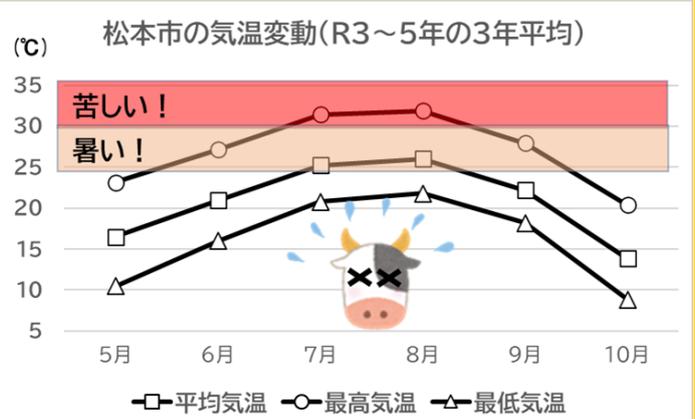


かほだより

暑熱対策を再確認！暑い夏に備えましょう！

今年も既に夏日が観測されました。近年は平均気温の上昇から、早めの暑熱対策が重要です。

乳牛は、25℃を超える気温が続くと生産活動（採食量、乳量、乳質、繁殖機能など）が低下するといわれています。以下の対策を参考にして、暑い夏を乗り切りましょう！



畜舎環境の対策



✓ 直射日光を遮断（特に牛舎西・南側）

よしず、緑のカーテン、寒冷紗等の設置

✓ 屋根からの熱を遮断

石灰乳塗布※、断熱材設置、屋根に散水（排水確保が必要）

✓ 換気・送風

機械のほこりやクモの巣等は取り払う、トンネル換気

牛に直接風を当てる（首から肩が効果的）

風速は2m/秒程度（3m/秒以上は牛のストレスになる）

➡気温32℃の時：風速1m/秒で体感温度26℃、風速2m/秒では23.5℃に



飼養管理の対策



✓ 飲水（新鮮な水が十分飲めるように）

✓ 飼料・ミネラル

涼しい時間帯の給与・給与回数を増やす、良質な嗜好性の良い粗飼料を選択
ミネラル増強（鈹塩など）・ビタミン補給

✓ 夏前の削蹄、毛刈り（特に高泌乳牛の首～肩、乳房周辺など）



松本家保では、畜舎内の風速・牛体の体表温度を測定しています。
希望される場合や暑熱環境等についてご相談ありましたら、ご連絡ください。
【保健衛生課】 TEL:0263-47-3223

※中信家畜畜産物衛生指導協会では、石灰乳塗布機の貸出が可能です
（費用2000円/回）。希望される場合は、ご相談ください。